

平成28年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金
(地域における地球温暖化防止活動促進事業)
実施報告書

事業名	地域における地球温暖化防止活動促進事業			
事業実施の団体名	公益財団法人 みやぎ・環境とくらし・ネットワーク			
地域センター名	宮城県地球温暖化防止活動推進センター			
＜事業の目的＞				
<p>本事業は、地球温暖化対策の推進に関する法律（平成10年法律第117号）に基づき、宮城県地球温暖化防止活動推進センター（以下、「宮城県センター」という）が実施する、宮城県民の日常生活に関する温室効果ガスの排出実態に関する地球温暖化防止活動推進員も活用した調査、情報収集、普及啓発、地域関係団体との連携等の事業であって、エネルギー起源二酸化炭素の排出の抑制に資する事業を実施することを目的とした。特に、昨年未採択されたパリ協定を踏まえた最新の温暖化対策に関する県民への普及啓発を強化することで、低炭素型ライフスタイルの推進を目指した。</p>				
＜事業の内容＞地球温暖化対策の推進に関する法律第38条関連等の事項				
<p>①【地域における地球温暖化の現状及び対策の推進状況等の啓発・広報業務】（第38条第2項第1号前段）</p> <p>当該地域における県民の日常生活に関する温室効果ガスの排出実態について、調査実施および結果の周知・広報や実践活動への展開を図るとともに、温室効果ガスの削減効果や行動変容等について評価を行った。</p> <p>「パリ協定」を踏まえ、最新の温暖化対策の普及啓発の強化として、環境教育を行う講師派遣数の増加を図った。</p> <p>小中学校および企業、行政等への講師派遣の周知・広報を強化した。</p> <p>(1) 「パリ協定」を踏まえ地球温暖化問題の現状や対策を県内各地に広めるため、小中学生および一般を対象に、環境講話の講師派遣の広報および派遣実施を行った。講師派遣にあたっては無料派遣とし、講師謝礼は本事業費より捻出した。周知を強化するため、宮城県に後援いただき教育事務所を通して県内732校の小中学校および高校に案内を通知した。</p> <p>内 容：太平洋に浮かぶ低海拔環礁国であり地球温暖化最前線国キリバス共和国の文化とそこに暮らす人々の生活を通し、地球温暖化問題について考えるきっかけを与える「キリバス環境出前講話」を実施した。</p> <p>タイトル：国がなくなる?!～キリバス共和国と地球温暖化～</p> <p>講 師：ケンタロ・オノ氏（キリバス共和国名誉領事館 名誉領事・大使顧問、宮城県仙台市在住）</p> <p>※講師・タイトルは全回共通</p> <p>*環境講話の講師派遣：21回実施、のべ4,229名受講</p>				
＜キリバス環境出前講話 実施実績＞				
	開催日	学校/団体名	対象	人数(名)
1	6/20(月) 10:50～16:20	仙台市立寺岡小学校	小学4年生	150
2	8/18(木) 13:00～14:30	学校法人朴沢学園 明成高校	教職員	90
3	9/23(金) 10:40～12:00	美里町立中埠小学校	小学5年生	25
4	10/5(水) 11:55～12:45	古川学園高等学校	高校1,2,3学年	498
5	10/11(火) 13:30～15:30	宮城県黒川高等学校	高校全学年	700
6	10/13(木) 11:00～11:50	宮城県石巻工業高校 ※アリティーヴィー、石巻日日新聞、三陸河北新報取材	化学技術科1年	40
7	10/18(火) 10:35～12:00	名取市立ゆりが丘小学校	小学6学年	73
8	10/18(火) 15:20～16:20	東北学院高等学校 ※メディアプロジェクト取材	高校2、3年生	767
9	11/11(金) 13:00～14:20	宮城県古川工業高等学校	教職員	100
10	11/16(水) 14:40～16:10	東北工業大学(工学部 環境エネルギー学科)	大学1年生	80
11	11/21(月) 13:30～15:00	大河原町立大河原中学校	中学全学年	623
12	11/24(木) 10:30～12:00	東松島市大曲小学校	小学5年	51

13	11/25 (金) 13:40~15:00	仙台市立桜丘中学校 ※朝日新聞取材	中学全学年	300
14	12/15 (木) 10:40~12:15	大崎市立高倉小学校	小学5年生	8
15	12/16 (金) 11:20~12:05	柴田町立船岡小学校	小学6学年	101
16	12/19 (月) 14:10~15:40	仙台市立仙台青陵中等教育学校	中学3年生	138
17	2/2 (木) 10:40~11:40	多賀城市立山王小学校	小学6年生	119
18	2/3 (金) 13:30~15:00	大崎市立鹿島台小学校	小学5学年	94
19	2/8 (水) 10:45~12:20	利府町立青山小学校	小学6年生	73
20	2/8 (水) 14:30~15:30	利府町立利府西中学校	1学年	143
21	2/20 (月) 10:30~11:30	東松島市立大塩小学校	小学5、6年	56
合計				4,229



6/20 寺岡小学校



8/18 明成高校



9/23 中埜小学校



10/5 古川学園高等学校



10/11 黒川高等学校



10/13 石巻工業高校



10/18 ゆりが丘小学校



10/18 東北学院高等学校



11/11 古川工業高等学校



11/16 東北工業大学



11/21 大河原中学校



11/24 大曲小学校



11/25 桜丘中学校



12/15 高倉小学校



12/16 船岡小学校



12/19 仙台青陵中等教育学校



2/2 山王小学校



2/3 鹿島台小学校



2/8 青山小学校



2/8 利府西中学校



2/20 大塩小学校

<メディア報道>

	日付	媒体名	内容
1	10/23 (日)	ニュースサイト 「TOHOKU360」	ケンタロオノさんのインタビュー記事の中で、 キリバス環境出前講話が紹介された http://tohoku360.com/kiribati/
2	10/25 (火)	石巻かほく	10/13 石巻工業高校でのキリバス環境出前講話 の実施が紹介された
3	2/9 (木)	宮城県ウェブサイト	ケンタロ・オノさんの知事表敬訪問記事の中 で、キリバス環境出前講話が紹介された

NEWS 石巻かほく

ツイート 7 7 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0

2016.10.25

地球温暖化考える 石巻工高で出前講座 キリバス共和国の危機

地球温暖化の影響で、国が存続の危機にあるキリバス共和国の現状を伝える「国がなくなる?! ~キリバス共和国と地球温暖化」(公益財団法人みやぎ・環境とくらし・ネットワーク主催)の出前講話が先日、石巻工高であった。



キリバス共和国の現状を訴えるオノ氏

同名名誉領事館の名誉領事ケンタロ・オノ氏(39)を講師に迎え、化学技術科1年生37人と教員が受講した。

オノ氏は「首都タラワは2050年には土地の80%が浸水するとされている。日本も同じ島国なので決して人ごとではない」と話し、「君たちは化学という大切なことを学んでいる。キリバスに住む子どもたちの将来をつなぐと思って勉強を頑張してほしい」と力を込めた。

オノ氏は、自国の概要や経済・産業、歴史について説明したほか、日本のカツオ一本釣り漁船に多くのキリバス人が乗船するなど、日本との関係が根深いことも紹介した。

小学校時代までキリバス共和国に住んでいて、キリバス人の母を持つ阿部智大さん(17)は「タラワに住んでいたころは満潮時になると、家の近くまで浸水していた。勉強して母国へ貢献したい」と話した。

オノ氏は、仙台生まれで2000年に同国の国籍を取得して住んでいたが、11年に日本へ戻った。県内各地で講話しており、石巻工高で6校目になる。

みやぎニュースクリップ/キリバス共和国名誉領事による知事表敬訪問について(平成29年2月6日)

掲載ページへ戻る 掲載日: 2017年2月9日更新

平成27年8月に在仙台キリバス共和国名誉領事館が設置され、その名誉領事に就任されたケンタロ・オノ氏が県との連携を図るため村井知事を表敬訪問しました。

仙台市出身のオノ氏は、15歳で単身キリバスに留学し、日本人として初めてキリバス共和国に帰化。東日本大震災を機に仙台に在住し、両国の交流促進に尽力されています。

キリバス共和国は、33の珊瑚礁からなり、世界第3位に相当する広大な排他的経済水域を有していますが、海抜が平均2mであることから、気候変動による海面上昇で、国の全ての島々が水没する危機に直面しています。オノ氏は、この現状を多くの方に知ってもらうため、「ストップ温暖化センターみやぎ」が主催する宮城県内の学校向け環境出前講話では講師を務め、県が主催した「みやぎ環境フォーラム」の講演会の講師としてご協力いただきました。

訪問に際し、オノ氏は「キリバス共和国の現状を知っていただき、地球温暖化が身近な問題であることを伝えたい。特に子ども達への環境教育を進めていきたい。」と力強く抱負を語りました。

それに対し村井知事は「地球の環境問題を伝えていくことはとても大切な、ぜひ協力いただきたい。」と今後も連携を深める意向を述べました。



(2) 県民の日常生活に関する温室効果ガスの排出実態の情報提供や温室効果ガス削減に関する啓発・広報活動を行うため、地域イベントへの出展や環境講座等への講師派遣を行った。

*地域イベントへの出展: 23回実施、のべ2,530名来場者

*環境講座への講師派遣: 7回実施、のべ553名受講

(※) (2) の講師派遣においては、通常の講師派遣業務であり、講師料は捻出しない。

<地域イベントへの出展>

	開催日	イベント名	出展内容	参加者数(名)	活動推進員数(名)
1	5/29(日)	ユアスタ仙台 エコ体験ブース	エコドライブシミュレーター、カードケース作り	100	3
2	6/18(土)	せんだい E-Action イベント「3Eを体験会！」	うちエコ診断、家庭の省エネアンケート	500	3
3	6/19(日)	しちがはま環境フェスタ	うちエコ診断、エコドライブシミュレーター、家庭の省エネアンケート	200	5
4	6/25(土)	泉環境まつり	省エネゲーム、手回し発電機	50	4
5	7/9(土)	七小ゆめフェスティバル	うちエコ診断、パネル展示	30	2
6	7/17(日)	学都「仙台・宮城」サイエンス・デイ 2016	目指せ、地球防衛隊! ~地球を救うのはわたしたち! ~	40	5
7	7/23(土)	エコチャレンジフェスタ in ユアスタ仙台	うちエコ診断、エコドライブシミュレーター、家庭の省エネアンケート	60	5
8	7/30,31(土・日)	イオン夏のリフォームフェア in 利府	うちエコ診断、パネル展示	30	3
9	8/9(火)	地下鉄に乗って、星空と武将隊に会いに行こう	うちエコ診断、パネル展示	70	1
10	8/20(土)	亘理環境フォーラム 2016	うちエコ診断、パネル展示	50	2
11	8/27(土)	栗原市民まつり	エコドライブシミュレーター、家庭の省エネアンケート	100	1

12	9/10,11 (土・日)	イオン秋のリフォームフェア in 中山	うちエコ診断、パネル展示	30	3
13	9/17(土)	MELON フェスタ	パネル展示、手回し発電ぬいぐるみ体験	110	5
14	9/24(土)	ガマロック	エッセンシャルオイルを使ったアロマの虫除けスプレー作り	100	3
15	10/9(日)	りふ環境まるごとフェア	環境マーククイズ、My バック My 箸づくり、家庭の省エネアンケート	500	6
16	10/16(日)	角田市環境フェア	うちエコ診断、家庭の省エネアンケート	30	2
17	10/23(日)	まつりだよ！泉区中央！	うちエコ診断、家庭の省エネアンケート	100	1
18	10/29(土)	エネサンス東北秋の感謝祭 2016	うちエコ診断、パネル展示	10	2
19	10/30(日)	おおがわら環境フェア	うちエコ診断、パネル展示	20	2
20	11/5(土)	石巻環境フェア 2016	うちエコ診断、家庭の省エネアンケート	100	2
21	11/12(土)	おおさき環境フェア 2016	うちエコ診断、家庭の省エネアンケート	100	2
22	12/11(日)	環境フォーラムせんだい 2016	環境マーククイズ、家庭の省エネアンケート	150	4
23	1/29(日)	なっ得！発見！みやぎ環境フォーラム	うちエコ診断、パネル展示、家庭の省エネアンケート	50	12
合計				2,530	78



5/29 ユアスタ仙台



6/18 せんだい E-Action イベント



6/19 しちがはま環境フェスタ



6/25 泉環境まつり



7/9 七小ゆめフェスティバル



7/17 サイエンス・デイ 2016



7/23 エコチャレンジフェスタ



8/9 星空と武将隊に会いに行こう



8/20 亙理環境フォーラム 2016



8/27 栗原市民まつり



9/9・10 イオン



9/24 ガマロック



10/9 りふ環境まるごとフェア



10/23 まつりだよ！泉区中央！



10/29 エネサンス東北



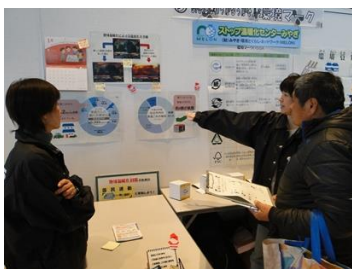
10/30 おおがわら環境フェア



11/5 石巻環境フェア 2016



11/12 おおさき環境フェア 2016



12/11 環境フォーラムせんだい



1/29 みやぎ環境フォーラム

<環境学習への講師派遣>

	開催日	主催	内容	派遣者名	受講者数 (名)
1	7/26(火)	荒町児童館	身近な環境発見！「〇〇ボックスで遊ぼう！」	宮城県センター職員	80
2	7/29(金)	仙台市消費生活センター	地球温暖化ってなあに？～タンブラーづくりもやってみよう！～	宮城県センター職員	39
3	8/20(土)	NPO 法人青森県環境パートナーシップセンター	青森県地球温暖化防止活動推進員研修	推進員（千葉智恵氏）	33
4	9/9(月)	七郷小学校	地球温暖化について学ぼう！	宮城県センター職員	170

5	10/17(月)	NPO 法人環境あきた県民フォーラム	秋田県地球温暖化防止活動推進員 ESD 研修会	推進員 (今野勇氏、千葉智恵氏)	14
6	10/31(月)	増田公民館	道のりを考えてみよう!	宮城県センター職員	17
7	11/7(月)	増田公民館	道のりを考えてみよう!	宮城県センター職員	200
合計					553



7/26 身近な環境発見!



7/29 地球温暖化ってなあに?



9/9 地球温暖化について学ぼう!



10/17 ESD 研修会



10/31 道のりを考えてみよう!



11/7 道のりを考えてみよう!

(3) 「パリ協定」や COP22 を踏まえた地球温暖化問題に関する日本や世界の動向の最新情報について、広く県民へ普及啓発を行うことを目的としたイベントを 1 回開催した。

*COP22 関連イベント開催：1 回実施、のべ 43 名参加

「COP22 (マラケシュ会議) 報告会 in 仙台～すでに始まっている被害と損失! 温暖化対策の最新動向と私たちにできること～」報告

日 時：2 月 11 日 (土) 13:30～16:00

会 場：仙都会館 8F 会議室

内 容：①報告 1 「気候正義 (Climate Justice) の観点から見る COP22」

深草亜悠美さん (認定特定非営利活動法人 FoE Japan 気候変動・エネルギー担当)

②報告 2 「地球温暖化最前線国キリバス共和国の状況」

ケンタロ・オノさん (キリバス共和国名誉領事館 名誉領事・大使顧問)

③パネルディスカッション

・情報提供 「COP22、日本の対応とトランプ政権の影響」

長谷川公一さん (東北大学大学院文学研究科教授)

・質疑応答

パネリスト：深草さん、オノさん

コーディネーター：長谷川さん

参加者：43 名 (推進員 18 名、一般 24、宮城県 1 名)

総 括：今回「損失と被害」の視点から COP22 の報告を行ったが、深草さんとオノさんのお話しが上手にかみ合わさり、アジア途上国・低海抜環礁諸国の温暖化による影響の現状と訴えを切実に伝えることができた。パネルディスカッションも短時間ではあったが、参加者からの質疑意見も交えつつパネリストの意見も引き出していただき内容の濃い議論を行うことができた。



報告の様子



左からオノさん、深草さん



パネルディスカッション

(4) 上記(1)から(3)を通し、「COOL CHOICE」の普及に努めるとともに賛同登録を呼びかけた。合わせて、削減効果を評価するため「家庭の省エネアンケート」を実施した。アンケート実施においては、推進員を積極的に活用しイベントスタッフの不足を補うことで、アンケート回答者の増加を図った。

*「COOL CHOICE」の賛同登録者数：8,592名

*地域イベントでの家庭の省エネアンケート実施：12回実施、のべ312名回答

②【地球温暖化防止活動推進員の支援】(第38条第2項第1号後段)

推進員を活用する体制を構築しつつ、推進員に対するスキルアップ・ネットワーク作りのための研修会を2回開催した。また、県内の地球温暖化防止に関する取り組みをまとめたカレンダー型冊子を推進員と協力し作成した。

(1) 推進員同士のネットワーク作りや実践的な活動を行うためのスキルアップ、推進員活動活性化を目的とした推進員対象の勉強交流会を開催した。

*勉強交流会の開催：2回開催、のべ41名参加

【研修会概要】

	第1回	第2回
日付	11月26日(土)	2月11日(土)
テーマ	山形県推進員との交流	活動のふりかえり、温暖化最新情報の提供

1) 第1回推進員勉強交流会報告

日時：11月26日(土) 13:30~16:30

会場：仙台国際センター展示棟 会議室3

内容：1. アイスブレイク (じゃんけん列車、自己紹介)

2. グループワーク「推進員同士でやってみたいこと」

①グループ作り ②グループワーク ③全体発表 ④総括

参加者：17名

総括：昨年に引き続き、山形県地球温暖化防止活動推進センターと合同の交流会を開催した。さらに今年は、青森県からも職員と推進員が見学にきて、グループワークと一緒に参加した。ワークショップでは、各県推進員が入り交じり、活発な意見・情報交換がなされた。普段交流する機会の少ない他県推進員との交流は大変刺激を受けたようで、合同研修を続けてほしいという感想が多数あった。予算や会場、内容等で課題はあるが、県の幅を広げた合同研修も今後検討していきたい。

※山形県地球温暖化防止活動推進センターとの共催。

※青森県・市地球温暖化防止活動推進センター職員および推進員の見学があった。



アイスブレイク：じゃんけん列車



グループ毎に企画作り



全体発表

2) 第2回推進員勉強交流会報告

日時：2月11日（土）10：30～16：00

会場：仙都会館 8F 会議室

内容：【第1部：午前】10：30～12：00

(1) ストップ温暖化センターみやぎからの報告

(2) 宮城県からの報告

(3) 推進員の活動報告

・千葉智恵さん（1期） ・推進員グループ 太陽と私

(4) ワークショップ「伝え方を考えてみよう！」

【第2部：午後】13：30～16：00

COP22（マラケシュ会議）報告会 in 仙台

参加者：24名

総括：午前（活動のふりかえりのワーク）、午後（温暖化最新情報の講演会）の二部制で開催した。活発な推進員の活動報告を受けて、「共感した」「勉強になった」という感想があり参考になる部分も多くあったようである。参加する推進員にとっては有意義な会である一方で、参加者が少なくメンバーも固定化している点が課題である。推進員活動の活性化・スキルアップを図るためにも、魅力ある研修の企画ができるようにスタッフのスキルアップにも力を入れていきたい。



推進員からの活動報告



グループで「伝え方」をまとめる



全体発表

(2) 推進員活動の活性化および推進員活動の周知広報を目的に、推進員と協力し、家庭で取り組める温暖化対策をまとめた冊子を作成した。

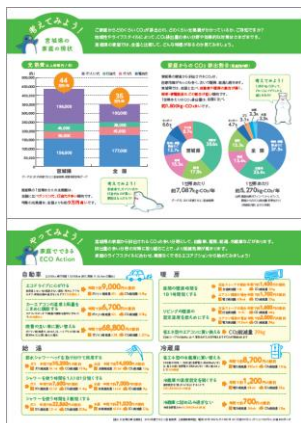
*協力推進員：10名

掲載内容：宮城県の家庭の現状（光熱費、CO₂排出量）、季節に合わせたおすすめのエコアクションコメント、推進員・講師派遣の紹介

作成部数：2,000冊

完成：2016年11月

配布場所：推進員、宮城県内文化施設、イベントでの配布等



宮城県の家庭の現状



推進員・講師派遣の紹介

- (3) ①の地域イベントへの出展、環境講座への講師派遣に、積極的に推進員を活用するとともに、ウェブサイトや情報紙にて推進員活動の広報を行った。また、効果的な実施や推進員支援内容および支援体制についてのブラッシュアップを図るため、他県の地球温暖化防止活動推進センターへのヒアリング訪問を実施した。

地域イベント出展への推進員の活用：23回のイベント出展で、のべ78名が活動（①（2）＜地域イベントへの出展＞参照）

講師派遣への推進員の活用：2回の講師派遣で、のべ3名が活動（①（2）＜環境学習への講師派遣＞参照）

ウェブサイトや情報紙への推進員活動の掲載：18回（ストップ温暖化センターみやぎブログ15回、MELON情報紙3回）

※ストップ温暖化センターみやぎブログ URL：<http://blog.canpan.info/stopgwm/>

※MELON情報紙ウェブ URL：<http://www.melon.or.jp/melon/syuppanhanbai.html>



ブログへの推進員活動の掲載（10/31掲載）



MELON情報紙・推進員だより（2016年10月発行）

- (※) 上記内容の効果的な実施や推進員支援内容および支援体制についてのブラッシュアップを図るため、他県の地球温暖化防止活動推進センターへのヒアリング訪問と全国ネット会議への参加を計3回実施した。

1) 神奈川県センター

日時：2016年6月27日（月）14：00～15：20

場所：神奈川県センター（横浜市神奈川区鶴屋町2-24-2 かながわ県民センター9F）

対応者：神奈川県センター 堤勝さん（理事・事務局長）、金子知喜枝さん

訪問者：古林恵理

所感：・職員2名の少人数であるが、推進員の支援（8地区での研修や大会、連絡協議会の開催）が厚く、アイデアも豊富である。

- ・「伝え方」をメインに研修を行っている点は参考にしたい。
- ・神奈川県センターが入っているビルの1階ロビーに、センターの特設ブーススペースがあり、COOLCHOICEの賛同用紙と回収箱などが置かれていた。チラシを手にとっている来館者もいた。



神奈川県センター入口



体験グッズが展示されている



1階ロビーの展示エリア

2) 栃木県センター

日 時：2017年1月18日（水）13：00～16：30

場 所：栃木県センター（宇都宮市下岡本町2145-13 栃木県保健環境センター北棟1F）

対応者：栃木県センター 増渕弘子さん

訪問者：古林恵理

所 感：・県や市が推進員報告会などには毎回参加してもらっている。

・研修を行うのではなく、あくまで実践することを前提とした目指した推進員支援を行っていた。

・推進員が非常に熱心。ツール作成などでは、専門的なスキルのある方もいる。

・〇〇ボックスをアレンジした「トチボックス」のアイデアは参考にしたい。（6面を使ったボックスの特性を利用している）



推進員報告会の様子



トチボックス



1階ロビーの展示エリア

3) 第2回全国調整会議

日 時：2017年2月17日（金）9：30～16：00

場 所：TKP 東京駅日本橋カンファレンスセンター(東京都中央区八重洲)

参加者：古林恵理

所 感：平成29年度以降の地域センターおよび全国ネット事業について議論を行った。1月に開催された第1回以降の新しい動きとしては、平成30年度事業提案に向けたタスクフォースの設置とスケジュールが示されたことである。

今後、全国ネット、他地域センターと密に連絡を取りながら情報収集に努めるとともに宮城県センターの事業検討を行いたい。

③【地球温暖化防止活動を行う民間団体の活動実績調査および支援】（第38条第2項第1号後段）

当該地域において地球温暖化防止活動を推進する民間の団体等における活動の実態把握、取りまとめを行った。また、当該活動に関する情報提供及び活動支援を実施した。

(1) 過年度実施した一村一品事業や低炭素杯等に応募した団体、その他環境活動を行う学校・団体・企業等の調査・取材および低炭素杯2017への応募団体の増加を図った。

*団体調査・低炭素杯応募呼びかけ：20団体

*取材：3件実施



12/6 株式会社サイコー取材



1/6 みやぎ生活協同組合取材



2/16 低炭素杯取材

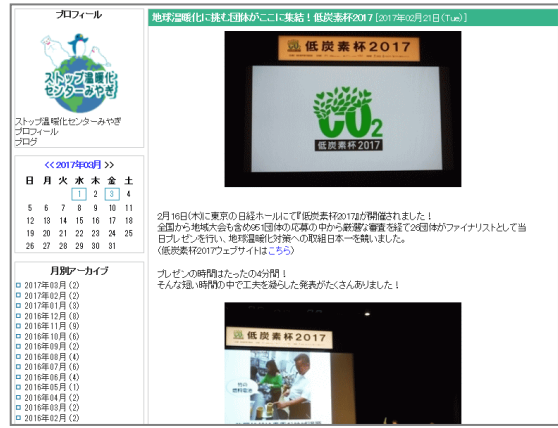
(2) 以上3件の調査・取材結果を取りまとめ、ストップ温暖化センターみやぎのブログで紹介し情報発信を行った。

ブログへの掲載：3回実施

※ストップ温暖化センターみやぎブログ URL：<http://blog.canpan.info/stopgwm/>



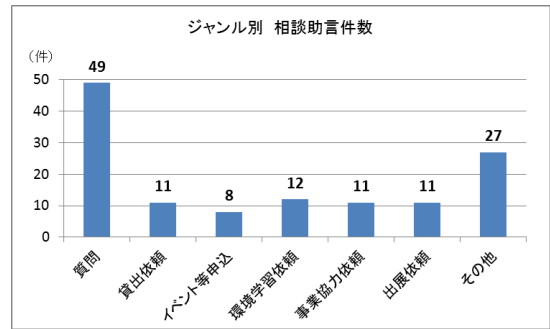
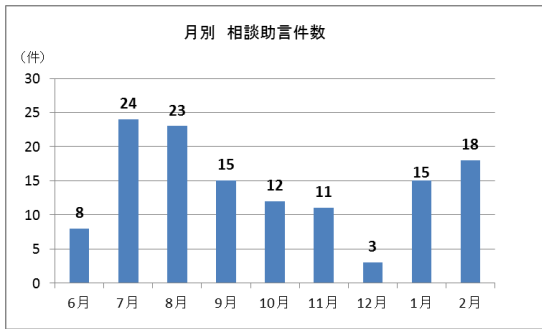
株式会社サイコー取材 記事 (12/18 掲載)



低炭素杯 2017 取材記事 (2/21 掲載)

④【日常生活に関する温室効果ガスの排出の抑制等のための照会・相談・助言業務】(第38条第2項第2号)
 地域の日常生活に関する温室効果ガスの排出の抑制等のための措置について、地域住民の照会・相談窓口となり、必要に応じて助言を行った。

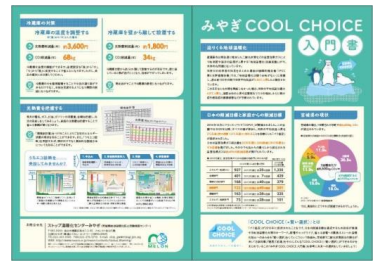
*受付体制：電話・メール・来訪
 実施実績：129件



⑤【温室効果ガスの排出実態の把握、分析業務】(第38条第2項第3号、第38条第2項第4号)
 地域の日常生活に関する温室効果ガスの排出の抑制等のための措置について、温室効果ガスの排出実態について調査を行い、当該地域における温室効果ガス排出実態の把握・分析等を行った。

- (1) 過年度に実施した「家庭エコ診断基盤整備事業」における宮城県内のデータを解析し、各家庭の温室効果ガスの排出実態の把握・分析を行った。
- (2) 以上の結果をもとに、一般向けのパンフレット「みやぎ COOLCHOICE 入門書」を作成した。作成にあたっては、うちエコ診断士と内容の検討を行った。今後の推進員活動等で活用していく。

名称：みやぎ COOLCHOICE 入門書
 掲載内容：宮城県の家庭における CO₂ 排出量（用途別）、給湯・暖房・
 自家用車・冷蔵庫等のおすすめ対策（対策ごとに CO₂ 削減
 量、光熱費削減金額も記載）等
 作成部数：2,000冊
 完成：2017年2月
 配布場所：推進員300冊、MELON 会員1,000冊、宮城県内文化施設等
 200冊、地域温暖化防止活動推進センター60冊、イベントで
 の配布440冊



⑥【指定団体等への施策の協力・連絡調整会議の設置、運營業務】（第38条第2項第5号、第38条第3項）

宮城県センター事業について、関係各所との連絡調整を行うとともに、当該年度にかかる事業の成果についての検証・評価を行うため、「宮城県温暖化防止活動連絡調整会議」を設置し、宮城県センターが開催運営等の事務局業務を行った。

*構成員：16名

*運営事務局：宮城県センター

*開催回数：3回

(1) 構成員

	氏名	所属
1	阿部 育子	個人、MELON 評議員
2	伊藤 卓雄	個人、MELON 会員
3	伊勢 武彦	宮城県環境生活部環境政策課 課長
4	大場 健一	山形県地球温暖化防止活動推進センター センター長
5	小野寺 むつ子	宮城県地球温暖化防止活動推進員
6	門田 陽子	個人、MELON 理事
7	菅野 一郎	みやぎ環境カウンセラー協会理事
8	菊地 敏子	個人、宮城県地球温暖化防止活動推進員、MELON 理事
9	昆野 加代子	みやぎ生活協同組合生活文化部
10	佐藤 剛	個人、MELON 会員
11	佐藤 俊彦	NPO 法人環境会議所東北
12	高平 尚	東北電力株式会社宮城支店企画管理部門部長（企画担当）
13	中田 俊彦	東北大学大学院工学研究科 教授
14	長谷川 公一	東北大学大学院文学研究科 教授、MELON 理事長
15	樋口 千恵	仙台市環境局環境部環境共生課 課長
16	藤田 誠	一般財団法人省エネルギーセンター東北支部 事務局長

(2) 開催実績

	開催日	出席者数	内容
第1回	7/27（水） 18：00～20：00	構成員 10名 事務局 5名	1. 平成28年度委託・補助事業等の実施概要 2. 話題提供「みちのくEMSについて」（佐藤俊彦氏）
第2回	10/19（水） 18：00～20：00	構成員 11名 事務局 3名	1. 平成28年度委託・補助事業等の中間報告 2. 話題提供「再生可能エネルギーの取組」（伊藤卓雄氏）
第3回	2/22（水） 18：00～20：00	構成員 12名 事務局 3名	1. 平成28年度委託・補助事業等の評価 2. 協議事項「平成29年度事業の活動計画」 3. 話題提供「SVO コージェネレーション」（昆野加代子氏）



7/27 第1回



10/19 第2回



2/22 第3回

<事業を実施したことによる効果>

【地域における地球温暖化防止活動の取組への効果】

≪CO₂の削減≫（必須）

本補助事業実施による CO₂削減量：218.0 (t-CO₂)、年間換算 CO₂削減量：663.9 (t-CO₂)

削減量の測定方法（計算式等）

地域イベント等にて実施した家庭の省エネアンケートの回答結果および、普及啓発活動の削減原単位を用いた計算結果を合算することにより算出した。

- 〈1〉 家庭の省エネアンケートの回答：13 回実施、のべ 324 名回答
- 〈2〉 普及啓発活動の削減原単位を用いた計算：
 - キリバス環境出前講話：21 回実施、のべ 4229 受講
 - 環境講座への講師派遣：1 回実施、のべ 170 名受講
 - COP22 関連イベント：1 回実施、のべ 43 名参加

	実施内容	CO ₂ 削減量	
		事業期間 (kg-CO ₂)	年間 (kg-CO ₂ /年)
1	〈1〉 家庭の省エネアンケートの回答	25,791	64,251
2	〈2〉 キリバス環境出前講話	181,116	570,915
3	〈2〉 環境講話への講師派遣	10,815	22,950
4	〈2〉 COP22 関連イベント	270	5,805
合計		217,992	663,921

内訳を以下に示す。

〈1〉 家庭の省エネアンケートの回答

地域イベントでの地球温暖化防止普及啓発に関するブース出展や環境講座にて、来場者に地球温暖化防止と省エネ行動実践について対話にて促した。その後、全国ネットが実施する「家庭の省エネアンケート」へ回答いただき、回答結果により CO₂削減量を算定した。

<実施実績>

	実施日	実施場所（イベント名等）	回答者数 (名)	実践期間 (実施日～ 2017/2/28)	CO ₂ 削減量	
					事業期間 (kg-CO ₂)	年間 (kg- CO ₂ /年)
1	6/18(土)	せんだい E-Action イベント「3E を体験会！」	19	255	2,189	3,133
2	6/19(日)	しちがはま環境フェスタ	26	254	3,977	5,714
3	7/23(土)	エコチャレンジフェスタ in コアスタ仙台	24	220	3,384	5,614
4	8/27(土)	栗原市民まつり	37	185	4,295	8,475
5	9/17(土)	MELON フェスタ	11	164	480	1,068
6	10/9(日)	りふ環境まるごとフェア	16	142	1,195	3,072
7	10/16(日)	角田市環境フェア	18	135	1,189	3,215
8	10/23(日)	まつりだよ！泉区中央！	7	128	565	1,612
9	11/5(土)	石巻環境フェア 2016	66	115	3,649	11,581
10	11/12(土)	おおさき環境フェア 2016	50	108	2,713	9,168
11	12/11(日)	環境フォーラムせんだい 2016	24	79	1,514	6,995

12	12/14(水)	推進員が実施した環境講座 (推進員が自主的に回収)	14	76	435	2,087
13	1/29(日)	なっ得！発見！みやぎ環境フォーラム	14	30	207	2,516
合計			324		25,791	64,251

※削減量は「B.これから実施したいと思う」と回答したもののみを集計

〈2〉普及啓発活動の削減原単位を用いた計算

本事業にて一般市民向けに実施した普及啓発活動について、普及啓発活動による削減効果の評価式（平成27年度一般社団法人地球温暖化防止全国ネット提案）を用いて、CO₂削減量を算出した。

*削減量 (kg-CO₂/年) = 削減原単位 × 啓発手法による係数 × 啓発内容による係数 × 参加人数

*削減原単位 = 135 (kg-CO₂/年/人)

*削減効果算出のための係数

		啓発手法			
係数		展示	座学	体験	対話
啓 発 内 容	温暖化・エネルギー	0.97	1.00	1.12	
	省エネ	1.10			
	他の環境問題	1.00			
	その他	0.46	0.92	1.03	

※平成27年度一般社団法人地球温暖化防止全国ネット提案

〈実施実績：キリバス環境出前講話〉

※啓発手法は座学、啓発内容は温暖化・エネルギーで全回共通。

	実施日	実施場所	削減効果 算出のため の係数	参加者数 (名)	実践期間 (実施日～ 2017/2/28)	CO ₂ 削減量	
						事業期間 (kg-CO ₂)	年間 (kg- CO ₂ /年)
1	6/20(月)	仙台市立寺岡小学校	1.00	150	253	14,036	20,250
2	8/18(木)	明成高等学校	1.00	90	194	6,458	12,150
3	9/23(金)	美里町立中埠小学校	1.00	25	158	1,461	3,375
4	10/5(水)	古川学園高等学校	1.00	498	146	26,892	67,230
5	10/11(火)	宮城県黒川高等学校	1.00	700	140	36,247	94,500
6	10/13(木)	宮城県石巻工業高校	1.00	40	138	2,042	5,400
7	10/18(火)	名取市立ゆりが丘小学校	1.00	73	133	3,591	9,855
8	10/18(火)	東北学院高等学校	1.00	767	133	37,730	103,545
9	11/11(金)	宮城県古川工業高等学校	1.00	100	109	4,032	13,500
10	11/16(水)	東北工業大学	1.00	80	104	3,077	10,800
11	11/21(月)	大河原町立大河原中学校	1.00	623	99	22,812	84,105
12	11/24(木)	東松島市立大曲小学校	1.00	51	96	1,811	6,885
13	11/25(金)	仙台市立桜丘中学校	1.00	300	95	10,541	40,500
14	12/15(木)	大崎市立高倉小学校	1.00	8	75	222	1,080
15	12/16(金)	柴田町立船岡小学校	1.00	101	74	2,764	13,635
16	12/19(月)	仙台青陵中等教育学校	1.00	138	71	3,624	18,630
17	2/2(木)	多賀城市立山王小学校	1.00	119	26	1,144	16,065

18	2/3(金)	大崎市立鹿島台小学校	1.00	94	25	869	12,690
19	2/8(水)	利府町立青山小学校	1.00	73	20	540	9,855
20	2/8(水)	利府町立利府西中学校	1.00	143	20	1,058	19,305
21	2/20(月)	東松島市立大塩小学校	1.00	56	8	166	7,560
合計				4,229		181,116	570,915

<実施実績：環境講座への講師派遣>

※啓発手法は座学、啓発内容は温暖化・エネルギー。

	実施日	実施場所	削減効果算出のための係数	参加者数(名)	実践期間(実施日～2017/2/28)	CO ₂ 削減量	
						事業期間(kg-CO ₂)	年間(kg-CO ₂ /年)
1	9/9(金)	仙台市立七郷小学校	1.00	170	172	10,815	22,950

※その他講師派遣は、依頼元より謝礼ありのため除外。

<実施実績：COP22 関連イベント>

※啓発手法は座学、啓発内容は温暖化・エネルギー。

	実施日	実施場所	削減効果算出のための係数	参加者数(名)	実践期間(実施日～2017/2/28)	CO ₂ 削減量	
						事業期間(kg-CO ₂)	年間(kg-CO ₂ /年)
1	2/11(土)	COP22 関連イベント	1.00	43	17	270	5,805

①【地域における地球温暖化の現状及び対策の推進状況等の啓発・広報業務】

地域イベントへの出展や環境講座への講師派遣による県民と直接のコミュニケーションを通し、地域に根差した直接的な啓発・広報を行うことで、県民に対し地球温暖化対策の実践を促すことができた。特に、キリバス環境出前講話受講者や「COOL CHOICE」の賛同登録者は、目標を大幅に上回り、波及を拡大することができた。

<実施実績>

内容	目標	実績	達成率
(1) 講師派遣による受講者数 (キリバス環境出前講話+環境講座)	1,750名 (700+1050)	4,781名 (4,229+552)	273%
(2) 地域イベントでのブース来場者	1,000名	2,530名	253%
(3) COP22 関連イベント参加者	70名	43名	61%
(4) 「COOL CHOICE」の賛同登録者	1,000名	計 8,592名 うち個人賛同 1083名 団体数 29 (団体職員数 7509名)	859%
(5) 家庭の省エネアンケート回答者数	450名	312名	69%

②【地域地球温暖化防止活動推進員の支援】

推進員勉強交流会や冊子作成活動を通し、推進員活動を行う上で重要な推進員同士の繋がりや温暖化知識、伝え方のスキルアップを行うことができた。また、その成果として、地域イベント出展で活動する推進員が目標に比べ大幅に増えた。付随して、推進員の活動の広報回数も大幅に増え、推進員の活動をサポートすることができた。

また、他県センターを訪問し、センター活動のヒアリングや推進員報告会の見学を行うことで、センター活動や推進員の支援について知見を深めアイデアを膨らませることができた。

<実施実績>

内容	目標	実績	達成率
(1) 推進員勉強交流会の参加者	50名	41名	82%

(2) 冊子作成の活動者	36名	10名	27%
(3) 地域イベントでの活動者	45名	78名	173%
(4) 環境講座への講師派遣数	5名	3名	60%
(5) 推進員活動の広報回数	10回	18回	180%

③【地球温暖化防止活動を行う民間団体の活動実績調査および支援】

宮城県内にて活動する団体や低炭素杯の取材を通し、これまでつながりのあった団体とはさらに連携を深め、新たな団体とのつながりも生まれた。また、ブログ等で紹介することで、団体を支援し活動の活性化にもつながった。

<実施実績>

内容	目標	実績	達成率
団体調査・取材	5団体	3団体	60%

④【日常生活に関する温室効果ガスの排出の抑制等のための照会・相談・助言業務】

問い合わせ対し、迅速かつ的確な助言を行い、相談者の疑問解決や要望に応えることで、宮城県内の温暖化防止活動の促進に寄与することができた。

⑤【温室効果ガスの排出実態の把握、分析業務】

各家庭の温室効果ガスの排出実態について、過年度実施したうちエコ診断の結果を用いたことで、実データ（光熱費や家庭でのライフスタイル）を用いた独自の排出実態データを把握することができた。また、そのデータにより、県民へより具体的な対策を提案するための冊子を作成することができた。

⑥【指定団体等への施策の協力・連絡調整会議の設置、運營業務】

3回の会議実施により、様々な見識をもつ構成員から有効な助言を得ることができた。また、宮城県センターの事業を円滑に遂行することができた。